

1-2-4 景観形成に係る上位計画

(1) 第一次宇佐市総合計画（平成18年6月）

宇佐市では、快適で美しい魅力ある都市景観の形成を図るため、市民・事業者・行政が協働のもと、自然環境の保全・都市環境の向上・環境美化に努めていきます。

【景観形成に関する方針・施策】

自然景観の保全	景観法に基づく景観計画を策定し、景観行政団体として、景観形成に向け自然景観の保全に取り組みます。
都市景観の向上	<p>1 歴史的まちなみの保全・活用 歴史的なまちなみの保全・活用に向け、景観法に基づく景観計画を策定し、個性ある美しいまちなみ景観の形成に努め、魅力ある景観の創出を図ります。</p> <p>2 緑化運動の推進 ①花いっぱい運動、都市公園及び街路樹の整備、民間住宅の生垣、企業の緑化等全市的な緑化の増進に努めます。 ②苗木の配布や植樹祭、講演会等緑化に係わる普及啓発活動などを通じて、緑化運動の推進を図ります。</p> <p>3 緑と水のネットワークの形成 都市公園等の施設緑地や河川等の地域の独自性を形成する緑地と市内に点在する文化財等を緑地やサイクリングロードで有機的に連携した、緑と水のネットワークの形成を推進します。</p>
環境美化	<p>1 美化運動の推進 地区単位の美化運動団体やボランティア団体等の協力を得ながら、道路・公園・水路など公共空間の清掃を定期的に行い、美化運動を推進します。</p> <p>2 美しいまちづくりの推進 ごみを不法に投棄しないようモラルの向上を呼びかけ、美しいまちが保てるように、不法投棄監視パトロールと不法投棄防止看板の設置及び啓発に努めます。</p>

(2) 宇佐市都市計画マスタープラン（平成22年3月）

景観形成に関する方針において、海・山・川などの自然景観を良好な状態で残すとともに、歴史的な街並み等の景観整備に努めていきます。

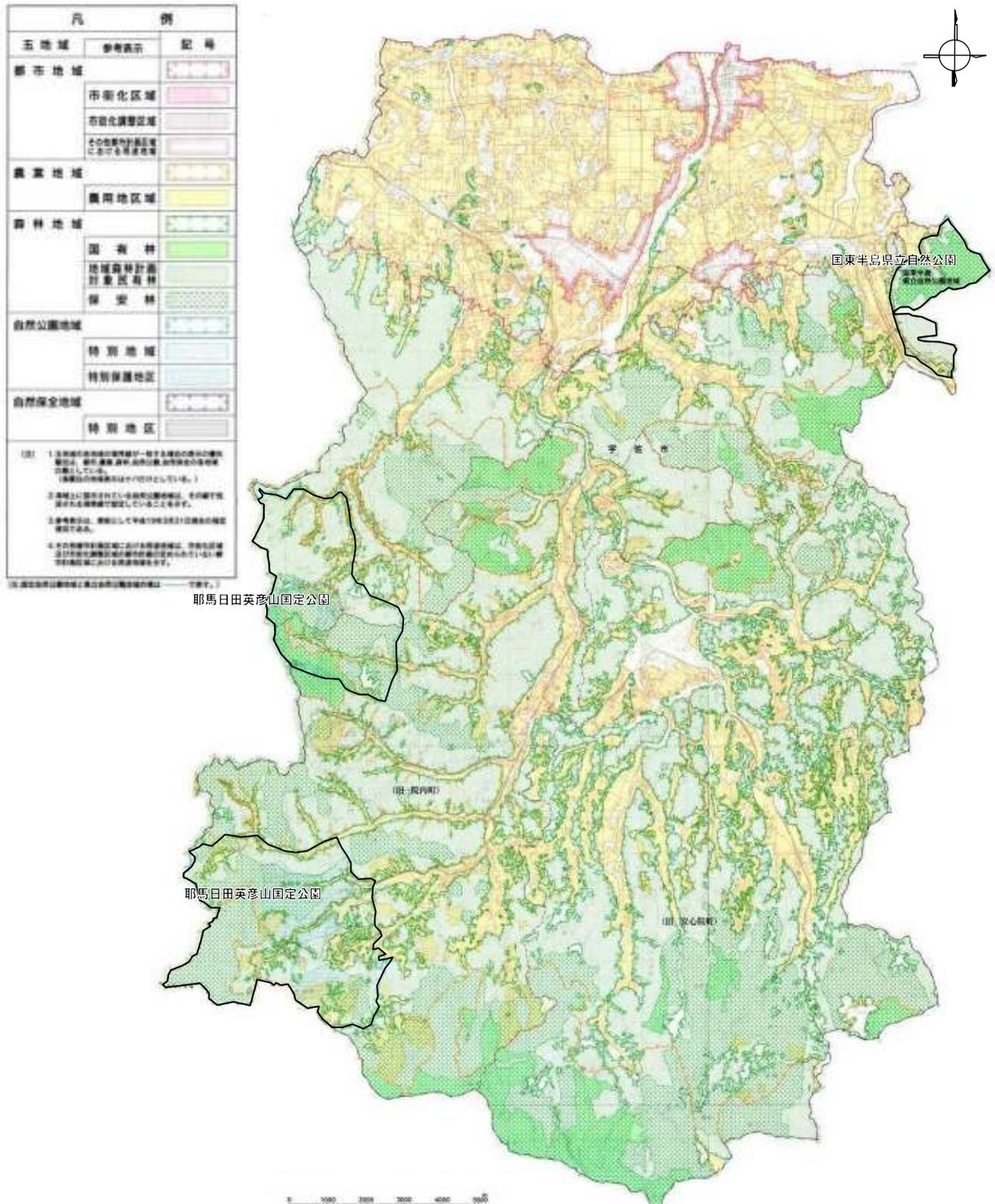
【景観形成に関する方針・施策】

自然景観	・豊かな自然と景観の保全を図るため、無秩序な開発を抑制し緑地や山林の保全を図ります。
歴史的 ・文化的景観	・市内に数多く点在する歴史的建造物、歴史的街なみの保全とそれらを活かした景観の形成を図ります。
農山漁村景観	・宇佐市固有の美しい農山漁村景観の保全を図るとともに、ツーリズムと連携して、田園や農山漁村の維持・形成に努めます。
市街地 ・道路景観等	<p>・歴史的街なみを活かした景観形成に努めます。</p> <p>・電線類の地中化や屋外広告物の規制、誘導による良好な沿道の街並み形成を検討します。</p>

1-2-5 景観形成に関わる法的規制等

1. 土地利用規制状況

宇佐市は、国土利用計画に基づく都市地域、農業地域、森林地域、自然公園地域が指定されており、都市計画法や農業振興地域の整備に関する法律、森林法、自然公園法によって、開発行為や土地取引などの景観形成に影響を与える土地利用を規制しています。



(1) 都市計画区域（都市計画法）

現在、宇佐市では、市域面積43,912haの21.8%にあたる旧宇佐市域の平野部9,579haに対し、都市計画区域を指定しています。また、都市計画区域の8.2%にあたる782haには用途地域を指定しており、指定の内訳をみると、住居系：商業系：工業系の構成比が概ね7:2:1となっています。

都市計画法では、用途地域内において建築物等の用途や規模を制限しており、形態・意匠などの景観形成を間接的に誘導しています。なお、建築物等の形態・意匠をよりきめ細かく定める地区計画については、これまで宇佐市内における例はありません。

(2) 農業振興地域（農業振興地域の整備に関する法律）

現在、宇佐市では、市域面積の約1/4が農業振興地域に指定されており、その内の5割強が農用地区域となっています。

農業振興地域では、建築物の建築や資材置き場等としての利用など農地以外の土地利用を制限することで、景観形成を間接的に誘導しています。

(3) 森林地域（森林法）

現在、宇佐市では、森林法に基づき23,882haの地域森林計画対象民有林と、7,931.7haの保安林区域を指定しています。

地域計画対象民有林では、土石又は樹根の採掘、開墾などの土地の形質を変更する一定規模の行為を、保安林区域では立木・立竹の伐採や家畜の放牧、土石・樹根の採掘、開墾などの行為を大分県知事の許可制としており、景観形成を間接的に誘導しています。

(4) 自然公園地域（自然公園法）

宇佐市内には、耶馬日田英彦山国定公園と国東半島県立自然公園の区域の一部が含まれています。

これら自然公園内においては、工作物の建築等や樹木の伐採、鉱物の掘採等を大分県知事の許可制としており、景観形成を間接的に誘導しています。

2. 大分県沿道の景観保全等に関する条例

【条例制定の経緯】

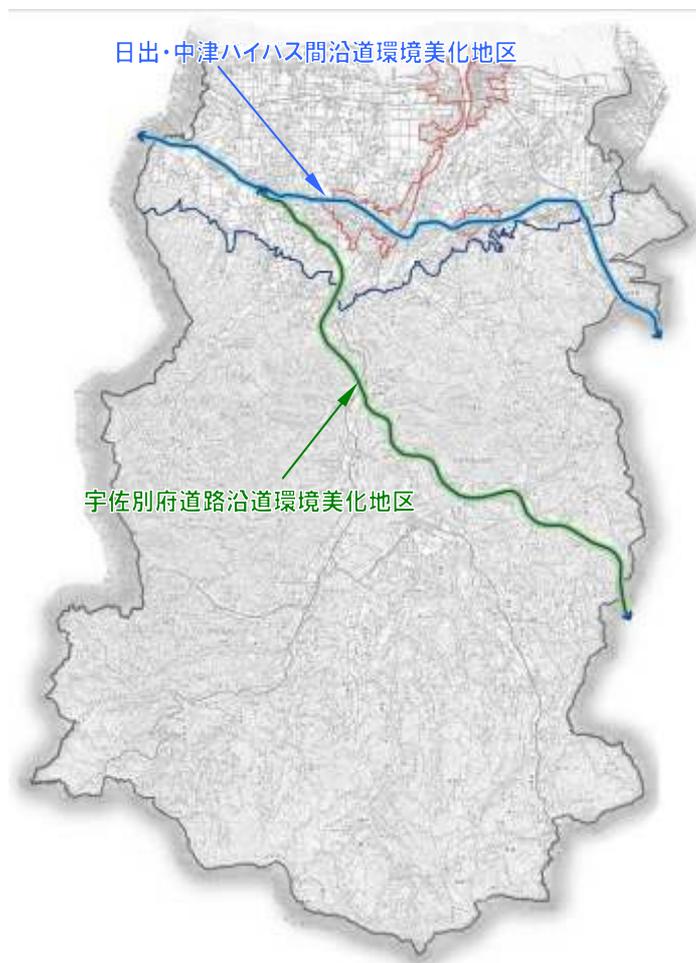
変化に富む山野、これを潤す水量豊かな河川、広々とした海等美しい自然に恵まれており、この自然の恩恵を享受しつつ、先人が活気あふれる生活を営む中で、自然と人々の生活とが一体となって形づくられてきた個性豊かな魅力ある大分県の景観は、県民に潤いと安らぎを与え、ふるさととしての愛着をはぐくみ、地域の文化を創造する活力を醸成してくれるものであり、先人から受け継いだかけがえのない財産となっています。

しかしながら、経済社会が右肩上がりに発展していた時代、土地利用の急速な変化によって、貴重な景観が損なわれる事態が発生し、特に沿道における優れた景観と美しい環境を積極的に守っていくことが急務となっていました。

このような背景を踏まえ、大分県では昭和63年に『大分県沿道の景観保全等に関する条例』を制定し、行政と県民及び事業者等が協力して、美しい県土を守り育て、大分県の景観を次代に継承する取り組みを進めてきました。

【宇佐市内における対象区間（地区）】

宇佐市内においては、国道10号沿いに「日出・中津バイパス間沿道環境美化地区」、宇佐別府道路沿いに「宇佐別府道路沿道環境美化地区」が指定されており、道路の区域から20mの範囲における大規模建築物等の新築・増築・改築・移転等や外観の変更、屋外における物品の集積又は貯蔵などの行為に対し、事前の届出が必要となっています。



1-3 宇佐市の景観特性

宇佐市の景観特性を、次の分類で整理します。

自然条件からみた景観（風景）特性

- 周防灘に面する北部から九重山系につづく南部にかけて、海岸部、平野部、低山と盆地、山間部で構成される市域によって、海から山まで変化に富んだ自然の風景が広がっています。
- 宇佐市の海岸部は長洲漁港付近など一部を除き埋立地も少なく、広大な干潟とともに、自然の海岸線が東西に伸び、市域の風景を縁取っています。
- この地域の山々は変化に富んだ形をしており、宇佐平野からみた中津市や豊後高田市と連続した稜線は、地域独特の眺望景観を形成しています。
- 宇佐平野では駅館川、寄藻川、伊呂波川がほぼ並行して周防灘に流れ注いでおり、これらの河川によってもたらされる豊かな水を活かした田園風景がつくられています。
- 市域中部の標高400m前後の山々に囲まれた盆地や山間の河川沿いの狭い谷間の土地では、里山や雑木林など地域の生活や生態系の背景となる自然景観を構成しています。
- 市域の南部に位置する山間部は一部に人工林を含む緑濃い森林地域が広がり、駅館川や伊呂波川など本市を流れる河川の水源となっており、所々に瀑布（滝）がみられるなど、豊かな自然が広がっています。

歴史・文化からみた景観（風景）特性

- 宇佐神宮に代表される歴史ある社寺仏閣が、敷地林とともに市内各所に点在しており、豊かな緑とともに歴史を感じさせる景観を創出しています。
- 宇佐神宮は敷地林や背後の緑とともに、その景観にも厳かな雰囲気漂わせていますが、市街地内に位置する東本願寺・西本願寺四日市別院は、地域の生活文化の中で一体となった景観を形成しています。
- 院内地域の集落は恵良川を軸に形成されており、川に架かる石橋がシンボルとなっており、この地域の生活文化と歴史の趣を感じさせる景観を形成しています。
- 院内地域の里山を更に南下すると、日本の棚田百選にも選ばれた「両合の棚田」をはじめとする棚田が広がっており、農業技術を継承する文化的景観を形成しています。
- 宇佐平野には掩体壕をはじめとする旧宇佐海軍航空隊の遺産が多く残っており、戦争遺産として当時の歴史を感じさせます。掩体壕は田園地帯の平坦な土地に点在しており、独特の風景を醸し出しています。

社会要因・市街地からみた景観（風景）特性

- 東本願寺・西本願寺四日市別院周辺に形成された当時の歴史を有する旧市街地では、ヒューマンスケール※1で地域の生活やコミュニティが感じられる空間・景観が残っており、さらに、街なみ環境整備事業によって門前町の雰囲気も感じさせます。
- 国道10号沿道には広告看板が並ぶ画一的な街並みが混在しています。
- 官庁施設や文化施設、民間の業務施設や商業施設が集積する市役所周辺部は、県道宇佐本耶馬溪線をはじめとする広幅員の道路を骨格として、アーバンスケール※2で街並みが形成されています。
- 安心院地域の中心部は周囲を山々に囲まれた盆地という特徴を有しつつ、市役所（支所）を中心に生活・都市機能（都市的土地利用）が集積しており、平野部の市街地と変わらない街並みを形成しています。
- 駅館川の河口に位置する長洲漁港の港町は、細い路地が入り組んでおり、昔からの家屋には白壁などの特徴が見られます。
- 柳ヶ浦駅は本市の玄関口であり、駅前に広がる市街地は土地区画整理事業によって整備されたものですが、住・商・工の用途が混在し、雑然とした雰囲気の街並みが形成されています。

※1 人の体や行動範囲に基づく寸法を基準とする尺度、または、尺度として考えること。

※2 建築物同士や建築と都市施設といった関係を基準とする尺度⇔ヒューマンスケール

産業からみた景観（風景）特性

- 宇佐平野では大規模圃場整備等により大分県内でも有数の穀倉地帯が広がっており、空間的奥行きのある広大な農業景観（田園風景）を形成しています。
- 駅館川河口に位置する長洲漁港は、大分県北部の漁業中核基地として発展してきており、水辺という自然と人の営みが調和した景観を形成しています。
- 宇佐インターチェンジが位置することで、その周辺部の丘陵地では下拝田工業団地をはじめ工場などの大規模施設の立地が進んでいます。
- 商業立地が国道10号などの幹線道路沿道を中心に進んでおり、全国チェーンの店舗が建ち並び、看板等の付属物や多様な色彩など情報量が溢れた街並みが形成されています。

市内の主な景観資源

	宇佐地域	安心院地域	院内地域
自然的景観 (海岸)	和間海浜公園／和間海浜公園をはじめする海岸部の松林／干潟		
自然的景観 (河川)	駅館川(桜づつみ、サイクリングロード、河川広場等)／伊呂波川／寄藻川	深見川／津房川／佐田川／東椎屋の滝／福貴野の滝／須崎の滝	恵良川／余の滝／大飛の滝
自然的景観 (山間地)	御許山／国東半島自然公園／仙岩山／高野堂	仙の岩／米神山／東椎屋の仙人田／安心院盆地の底霧	耶馬日田英彦山国定公園／鹿嵐山／岳切溪谷／西椎屋／沖の牛淵
農漁業景観	宇佐平野の田園風景(点在する集落)／長洲漁港の漁村集落／平田井堰	安心院盆地の田園風景／ブドウ畑	両合棚田／柚子畑／桂懸井手
歴史的・文化的景観	宇佐神宮・神宮の森／東本願寺・西本願寺四日市別院及び門前町(造り酒屋、銀行跡のレンガ造りの建物、桜岡神社、陣屋門)／宇佐風土記の丘／鷹栖観音堂／善光寺／東光寺五百羅漢／光岡城跡／宇佐海軍航空隊跡及び城井一号掩体壕／爆弾池／仙岩山／高野堂	最明寺／鍍絵を施した建物／下市磨崖仏／下市百穴／佐田京石／榑本磨崖仏／桂昌寺跡地獄極楽／佐田城跡／佐田神社／大年神社／龍王城跡／妻垣神社／妙菴寺	石橋群／龍岩寺／平家七人塚／西宝寺／恵良神社／岡川(オオサンショウウオの生息地)／妙見岳城跡／副城跡／水雲横穴古墳群／大蔵山烽火台跡
都市的景観	市役所周辺の官庁街／国道10号沿道の街並み／宇佐神宮の門前町／柳ヶ浦駅周辺地域／宇佐駅周辺地域	鍍絵のある街並み／宇佐市役所安心院支所周辺の国道500号沿道の街並み	宇佐市役所院内支所周辺の国道387号沿道の街並み